

産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和3年10月14日（木）

開催場所：1・2号委員会室

建設水道部

1. 建設工事の進捗状況について

広陵中学校グラウンド用土の改良と排水整備改修工事はグラウンド用土（現地取得分）の不足などに係る設計変更により、16,731,000円の増額になると説明があり、当初の設計段階の精度を上げるよう指摘しました。

2. 水管橋施設について

和歌山市の水管橋崩落事故を受け、中標津町の状況について説明を求めました。

担当からは2021年に14カ所の水管橋施設で目視による点検したと報告があり、中標津町の水管設備はそれぞれ補管している形態のため、水管橋に事故や破損があっても町内での断水の心配はないとの説明がありました。

3. 幼・小・中・農高の和式トイレの洋式化について

本年度、幼・小・中・農高の和式トイレの洋式化改修工事で、75台が設置され、予定されていた全ての洋式化の工事が終わったと報告がありました。

【主な質疑内容】

委員：学校のトイレは、全てが洋式化になりますか？

担当：現在82.6%の洋式化を終えております。残り42台は、和式トイレの使い方の学習のために残されます。

4. 公園管理について

緑ヶ丘森林公園などの老朽化した遊具の更新工事の報告を受けました。

5. 除排雪事業について

除雪作業は、連続降雪が目安として10cm以上で実施されますが、降雪中や警報発令中は危険を伴う恐れがあるため、除雪可能な状態になるまで作業は実施しませんと報告がありました。排雪実施は概ね150cm以上となり、視界の確保や道路交通に支障をきたす場合に実施すると説明がありました。

【主な質疑内容】

委員：町内の積雪を判断する基準点はどこにありますか？

担当：桜が丘と空港の観測所の積雪データを目安として、職員によるパトロールを実施し判断しています。

委員：道路等を除雪した雪の堆積場所の確保のために、空き地などを活用した堆雪場所の設置又は指定など、町として検討してはどうか？

担当：委託業者と協議しています。

経 済 部

1. 農業振興の臭気対策について

臭気対策のための資材、薬剤など様々な調査、検討をしているとの説明がありました。その結果について、農家における臭気対策が普及するよう農家等へPRするように申し入れました。

2. 観光振興について

新しい地域おこし協力隊員の宮長寛大さんが着任したと報告がありました。

中標津町の良さを学び、日本全国にプロモーションしていきたいと抱負を持っているとのことです。中標津町のために活躍を期待しています。

3. 岩谷学園専門学校の開設に向けた役場担当部署の新設について

(仮称)岩谷学園専門ひがし北海道IT専門学校の開設に向けて、役場内に兼務発令による6名体制の学校誘致連携推進室が設立され、町内外の関係団体の連絡調整や町民等への情報提供・周知などの対応にあたっています。

令和6年4月の開校を目指して、関係各所との協議が進んでいると報告を受けました。